



## 今井吉男 議員

### 平成26年度の 財源確保は。

### 町長 財源確保は厳しい 状況。

平成26年度予算編成に向けた財源確保は。

町長 現在、予算編成作業中であり、歳入では、予算の約50%を占める地方交付税については、前年度比約2000万円減額決定。歳出では、防災行政無線設備デジタル化本体工事等、政府の予算編成・県の予算編成の動きに留意しながら、町経済活性化のため、予算確保に努める。

26年度の奄振予算から新たな交付金が盛り込まれた。交付金の確保に向けた方策は。

町長 一括交付金については、平成26年度分は、制度設計の過渡期にあたるため、従来の補助金と同様の配分調整が行われる見通し。



今年4月から消費税は8%に

26年4月からの消費税増税に伴う経済対策として5兆円規模の補正予算を計上。離島の物価高などの対策費として予算確保が出来ないか。

町長 本町独自の物価等の対策は現在計画していない

が、国・県の動向を注視しつつ、対策を検討する。

毎年増え続ける医療・福祉予算を抑制する取り組みは。

町長 医療費の抑制には、町民の健康に対する意識の向上を図ることが必要であり、増え続ける医療給付の主要因は、糖尿病や高血圧といった生活習慣病となっている。



天井板が剥離して危険な田皆字公民館

奄振事業を活用して、観光客誘致の一環として、ペト同伴の宿泊施設は出来ないか。

町長 公共団体が行う宿泊施設の整備は、補助事業の活用は見込めない。

台風や地震等の災害発生時、田皆字公民館は天井のコンクリートはく離等危険であり、建て替えは出来ないか。

町長 現在プロジェクトチームで計画の素案を策定中であり、財政的に有利な補助制度等を検討している。

台風や地震等の避難場所になっっている各字公民館に、町内放送や電灯用として発電機の設置はできないか。

町長 安心安全な避難場所の確保の観点から、国・県の補助事業やコミュニティ助成事業（地域防災組織育成助成事業）等で整備を検討する。

田皆字では、サイレンが3年程前から故障して使用できず、火災発生時等に消防団員の召集に大変支障を来している。サイレンの更新は出来ないか。

町長 現在、防災行政無線の一機能として、各字（各分団）からもサイレンの吹鳴ができるような施設の整備を進めている。

